

# 議論のまとめ

## これまでの議論

### 適正化検討の背景

- ◎ **少子化の影響は大**
  - 本市では人口は増加しているが15歳未満の就学人口は減少している
  - 今後も少子化の傾向が続き、児童生徒数の回復は厳しい

### ◎ 小規模校・大規模校が偏在している

- 児童生徒数の減少で、学校は小規模化し様々な教育課題を抱えている
- 特に都心部においては小規模化が顕著である
- 一部の地域では住宅開発等により学校が大規模化している

### 学校規模による課題

#### ◎ 小規模校の課題

- 人間性・社会性の育成、学習指導、学校運営や教員配置においてデメリットが大きい
- 保護者の経済的負担も大きい
- クラブ活動や部活動、選択教科の実施率が低く児童生徒の選択肢が制約されている

#### ◎ 大規模校の課題

- 一定の規模を超えると特別教室が不足する
- 運動場、体育館、プールの密度が高くなり怪我の危険性が高まる

○例外的な通学区域の改善に努めるべき

○通学費の助成も含め、遠距離通学への対応策が必要

### 教育効果を高めるために

#### ◎ 小規模校では

- 学校教育は一定規模の集団を前提としており、一定の児童生徒数、学級数が必要
- 集団の中で切磋琢磨し自己成長する教育環境が必要

#### ◎ 大規模校では

- 学習環境を整えるための施設整備が必要
- 過大規模校では分離や校区調整など抜本的な対策が必要

#### ◎ さらに教育効果を高める

- 連携教育を効果的に行えるよう施設一体型の小中学校を視野に

第1回～第4回

## 学校規模と教育効果

## 3つの論点

第5回

## 安全・安心な通学環境

### ◎ 「校区が大きくなる」ことの影響

### ◎ 遠距離通学への対応

- 例外的な通学区域の改善に努めるべき
- 通学費の助成も含め、遠距離通学への対応策が必要

第6回・第7回

## 学校と地域の関わり

### ◎ 「地域から学校がなくなる」ことの影響

### ◎ 「新しい校区ができる」ことの影響

- 学校と地域や保護者が連携して子どもを育てる
- 学校と地域コミュニティとの密接な繋がりを考慮すべき

### ◎ 新しい学校のビジョン、地域の活性化

## 今後の議論の視点